



講座のご案内

2021年11月号

お申し込み



このチラシを見た方どなたでも、講座へ参加ができます。

住まいを丈夫で長持ちさせるために ～自主点検のポイント～

オンライン開催

健康に暮らせる住まいづくりの最終回は、戸建て住宅にお住まいの方に向けた講座です。住まいを長持ちさせるためには劣化の早期発見が大切、ご自身でできる点検ポイントをわかりやすくご紹介します。

日時：11月11日（木）13時30分～15時30分
講師：滝口 泰弘さん（一般社団法人住宅医療協会理事、一級建築士）

参加費：1,000円（事前にお振込みいただきます）



つながる・話す
元気になる！



koyaba カフェは不定期開催、参加費無料、ネット上で気がるにおしゃべりを楽しむ場です。お申し込みの方には Zoom のアクセス案内を送りますので、テーマに関係なくお気軽にご参加ください。

《今後の予定》

- 11月17日（水） 14時～15時30分
テーマ 「これから行ってみたいところ」
- 12月8日（水） 14時～15時30分
テーマは特になし

今後の講座の予定

ツアーや食の講座を予定しています。詳細は12月号にて。

◆1月13日（木）

新春！シネマ歌舞伎鑑賞と 銀座のアンテナショップ巡り （東京都中央区）

古典芸能はすこし敷居が高く感じますが、歌舞伎を映画で気軽に楽しめるシネマ歌舞伎が人気です。映画ならではのインタビューやアップの画面もあり、舞台とは別の楽しみ方があります。歌舞伎は初めてという方もリピーターの方も楽しめる映画をぜひこの機会に。

◆1月28日（金）

所沢航空記念公園の史跡と ロウバイ園を巡る （所沢市）

市民ガイドの方のご案内で、自然豊かな公園内の史跡を回ります。見ごろのロウバイの花も観賞できそうです。



◆1月15日（土）10時～12時

韓国家庭料理〈大根キムチ〉を 作ろう （生活クラブ所沢生活館）



旬の大根で、ヤンニョムとキムチを作ります。
作ったキムチと大根は持ち帰ります。

◆2月26日（土）10時30分～12時30分

太巻きまつり寿司〈桃の花〉に チャレンジ！ （生活クラブ所沢生活館）

伝統的な和食文化である太巻きまつり寿司、今回は〈桃の花〉にチャレンジします。ひとり一本ずつ作り、作ったものを持ち帰ります。



講座の報告 ～参加者の声から～



2021年9月28日開催 ハンセン病資料館オンライン見学会

差別と偏見。そして療養所という名の収容所。療養所とは病気を治す所だと思っていましたが、ハンセン病に関しては違ったのですね。衝撃的でした。

私は子供の時に結核になり、療養所通いをしていました。その時は大勢の患者さんが入院されていましたが、とても穏やかでのんびりされていました。

ハンセン病の療養所は、予算を減らすため？(予算を減らすは間違いかもですが)、患者さんに仕事をさせる。そして更に病状が悪化する…聞いていて悲しくなりました。

現在は療養所が看取りの場になっていると、伺いました。高齢でご家族がいらないのか？引き取り手がいないのか？解りませんが、療養所に入ったら一生そちらで過ごすイメージを持ってしまいました。(Y・Hさん)

ハンセン病の方々が施設に隔離されていた事実は知っていたものの、事前の動画を含めて、今回はじめて知ったことは多く、本当に参加して良かったと思いました。また、今まで積極的に知ろうとしていなかったことを反省しました。

何年か前、私はある施設の資料室で『断種について』という書籍を目にしました。その施設の入所者には精神疾患をもつ人が多く、どのような人が断種の対象になるかを研究したものでした。そう遠くない過去、そのような政策を「国」が取り組んでいたことを知ってとてもショックだったのを覚えています。そんなこともあって、断種や中絶がいつごろまで続いたのかを質問させていただきました。ご回答によると、1996年まで。断種はずっと過去のことだと勝手に思っていました。本当につい最近まで続いていたのですね。

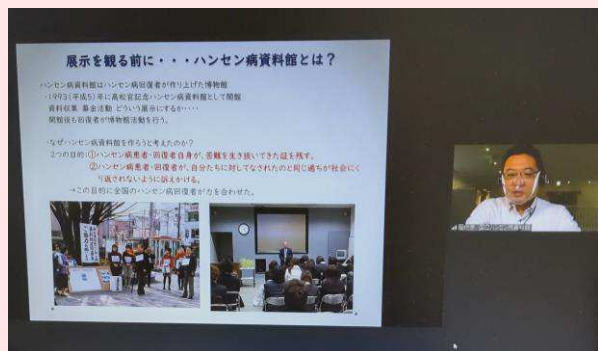
いつの時代も「政策」は、やむをえず、良かれと思って実施されたと記されます。従軍慰安婦についても政治家がそう述べているのを読みました。誰にとってやむをえなかったのか、誰を守るためのものだったのか。すべてのことには無数の切り口があると思います。ある面から善策だと主張しても、違う面から見れば全くそうではない。

学芸員さんの説明を聞いて、ハンセン病に関する様々な運動を起こしたのはハンセン病患者の方々ご自身だったと知りました。人は自分の経験の範囲でしか物事を判断できないことがあります。間違いであることにすら気づかないことがあります。どんな問題でも、当事者と当事者ではない人が互いに意見を言う、意見を聞く。それが一番必要で、身近では親子の関係でもそうかもしれません。

今回の見学会では、ハンセン病患者の方たちの苦悩の歴史をととても具体的にわかりやすくご説明いただけました。そしてその問題は、国の政策だけでなく、ひとりひとりの根底にあるものにも言及する必要があるのだと思いました。(N・Kさん)

〈大人の学校より〉

例年は実際に資料館を見学し、国立療養所や全生園内を散策する講座を開催してきましたが、今年度はオンラインでの資料館見学となりました。学芸員の方にライブで資料館の中を説明して頂いたことで、家に居ながら資料館を実際に見学しているような感覚で理解が深まりました。



お問い合わせ先

特定非営利活動法人 **大人の学校**

〒333-0857 川口市大字小谷場 206
生活クラブ生協内

電話/ファックス 048-423-3313

お電話の場合は平日の10時～16時、それ以外の日時や不在の場合は留守電にご用件を録音してください。折り返しご連絡いたします。

<http://www.otonanogakkou.org/>

大人の学校 スタッフのつぶやき

『コロナ禍の医療と暮らしを考える』オンライン講演会に講師としてお迎えした本田宏さんは、日本の医療や教育をよりよくして安心して生きられる国にするために、絶対諦めない！熱情を持って日々奮闘している方でした。

ダジャレを挟みながらのお話は、笑いのうちにも国が医師の絶対数が不足しているのに削減しようとしていることや、医療費を抑制していること、ドイツや北欧の幸福度が高い国の教育の違いや選挙の投票率の高さなど示唆に富むお話がたっぷりありました。本田さんは「気軽に呼んでください、どこへでも伺います」とおっしゃっていました。ひとりでも多くの人に聞いてほしいです。

(福寿草)

